

住人十色

第176回

思いが伝われば、世界はもっと広がる
磨いた表現力で挑む高校生英語弁論大会

一宮 もいさん(松山南高3年)＝護国＝



◎松山南高校で撮影に応じてくれた一宮さん。県大会の賞状と盾を手「挑戦を続けることで、とても充実した高校生活」と笑います

松山市で開かれた「第19回高校生英語弁論大会」で最優秀賞を受賞した一宮もいさん。続く四国大会も突破し、8月1日に宮城県で行われる全国大会に出場します。

一宮さんは小学生の時、一家でドイツからのホームステイを受け入れ、中学では内子町青少年海外派遣事業に参加しました。「もっと英語が話せていたら」と当時を振り返りますが、交流を通して文化や考え方の違い、コミュニケーションの楽しさを知り、世界が広がったそうです。全国大会では環境問題をテーマに、海外の人と接して感じた日本と世界の違いや、地球規模で議論を進められる英語力の必要性について述べます。「原稿は推敲を重ね、発音や抑揚、ジェスチャー、表情など表現力も磨き続けている。文字だけでは伝えきれないところに思いを乗せたい」と力を込めます。「何事も挑戦」がモットーの一宮さん。狂言や水泳、ピアノなども経験し、高校ではコーラス部と華道部を兼ねました。「好奇心旺盛な性格。培った経験は弁論にも生きていて、コーラスで声のトーンや強弱の付け方、狂言で大勢の前で表現する度胸も身に付いた」と笑顔を見せます。大会に向けて「英語で思いを伝えられたら、世界はもっと広がる。悔いのないよう、ベストを尽くしたい」と意気込みました。

編集 幸記

▽もうすぐ生後6カ月になる三男坊が寝返りをし始めました。表情も何となく変わってきています。この時期の赤ちゃんは光の速さで成長していきますね。お宝写真や動画を今のうちに撮りためておかないとな(史)

▽夏は小田の火祭りが楽しみで、小学生の頃、てるてる坊主をいっぱい吊るしていました。実家で米を育てる父は「小田で花火が上がったら広田にイノシシが逃げて来て田んぼに入るんよ」と言っていたな。本当に来るかは分かんないけど……(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

